

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月8日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社サックスバー ホールディングス

【英訳名】 SAC'S BAR HOLDINGS INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 木 山 剛 史

【本店の所在の場所】 東京都葛飾区新小岩 1 丁目48番14号

【電話番号】 03(3654)5315

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 山 田 陽

【最寄りの連絡場所】 東京都葛飾区新小岩 1 丁目48番14号

【電話番号】 03(3654)5315

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 山 田 陽

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第1四半期 連結累計期間	第47期 第1四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	13,169,213	12,992,796	55,774,125
経常利益 (千円)	754,821	786,414	3,775,187
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	453,033	500,276	2,177,764
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	455,637	491,493	2,237,693
純資産額 (千円)	27,294,698	28,601,682	29,070,630
総資産額 (千円)	39,730,614	40,267,021	41,541,068
1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	15.38	16.99	73.93
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.4	70.8	69.7

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

なお、当社グループ(当社及び連結子会社)は単一セグメントであります。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の緩やかな回復基調が続いているとされるものの、米中貿易摩擦の拡大、中国・欧州の景気減速等の不安定な世界経済の影響が懸念され、先行きの不透明な状況が続いております。

流通業界におきましては、実質賃金が伸び悩む中で消費税率の引き上げや物価上昇に対する消費者の不安感が強く、価格に対する意識がより一層強まり、節約志向も続き、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で、当社グループは積極的な事業展開を進めてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,992百万円(前年同期比1.3%減)とわずかに減収となりました。一方、営業利益は744百万円(前年同期比0.7%増)、経常利益は786百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は500百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。以下の数値につきましては、事業部門内の取引消去後かつ事業部門間の取引消去前のものを記載しております。

<小売事業等>

小売事業につきましては、4店舗の新規出店を行なうとともに、4店舗の退店を行ない、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は639店舗となりました。

売上につきましては、既存店売上高が前年同期比1.1%増となったものの、前期において出店22店舗、退店43店舗、店舗数純減21となった影響により、当事業部門の売上高は12,218百万円(前年同期比1.8%減)とやや減収となりました。財布・雑貨類のうち、財布は、小型財布のヒット等により同1.1%増となりましたが、雑貨はヘアアクセサリーの売上不振等により同1.9%減となりました。インポートバッグは、「キプリング」、「フルラ」、「ゲス」等が好調に推移し、同0.4%増となりました。メンズ・トラベルバッグは、メンズバッグはスポーツブランドの商品が好調に推移し、同1.2%増となり、トラベルバッグは大型ケースの売上低下により同3.1%減となりました。ハンドバッグは、プライベートブランドや提携ブランドの売上は堅調に推移したものの、一般仕入商品の売上がやや低下し、同2.7%減となりました。カジュアルバッグは、アパレルブランドとの提携商品の売上の減少が続き、同18.7%減となりました。

売上総利益率はインポートバッグ、財布の商品粗利益率の改善等により前年同期比0.2ポイント改善して48.5%となりました。販売費及び一般管理費率は、コストの節減に努めたものの、前年同期比0.1ポイント増加して43.2%となりました。

<製造・卸売事業>

製造・卸売事業につきましては、「LOJEL」ブランドのキャリーケースの売上が好調を持続し、また、ゴールデンウィークが10連休となったこともキャリーケースの売上増に寄与しました。

この結果、当事業部門の売上高は907百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,274百万円減少し、40,267百万円となりました。これは主に、商品及び製品が681百万円増加した一方で、現金及び預金が964百万円減少、受取手形及び売掛金が880百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて805百万円減少し、11,665百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が239百万円減少、未払法人税等が536百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて468百万円減少し、28,601百万円となりました。これは主に、剰余金の配当883百万円による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益500百万円の計上等によるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント増の70.8%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	31,200,000
計	31,200,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,859,900	29,859,900	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	29,859,900	29,859,900	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		29,859		2,986,400		4,176,790

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 402,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 29,403,100	294,031	-
単元未満株式	普通株式 54,000	-	-
発行済株式総数	29,859,900	-	-
総株主の議決権	-	294,031	-

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株(議決権60個)含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)サックスパーホールディングス	東京都葛飾区新小岩 1-48-14	402,800	-	402,800	1.34
計	-	402,800	-	402,800	1.34

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,513,157	2,549,056
受取手形及び売掛金	4,820,640	3,940,022
商品及び製品	13,794,625	14,475,686
原材料及び貯蔵品	57,391	53,628
その他	309,771	394,859
流動資産合計	22,495,587	21,413,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,062,394	3,037,986
土地	2,192,609	2,192,609
リース資産(純額)	869,808	817,042
その他(純額)	326,330	418,640
有形固定資産合計	6,451,142	6,466,278
無形固定資産		
	75,121	76,691
投資その他の資産		
投資有価証券	4,418,828	4,384,557
退職給付に係る資産	135,336	134,566
繰延税金資産	860,612	700,815
敷金及び保証金	6,578,802	6,574,206
その他	525,637	516,653
投資その他の資産合計	12,519,217	12,310,798
固定資産合計	19,045,481	18,853,768
資産合計	41,541,068	40,267,021
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,757,646	3,517,795
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
リース債務	419,267	390,928
未払法人税等	669,520	133,303
賞与引当金	356,325	179,670
役員賞与引当金	52,800	13,800
株主優待引当金	24,000	24,000
その他	2,319,592	2,634,514
流動負債合計	7,699,152	6,994,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
固定負債		
社債	1,700,000	1,700,000
リース債務	667,142	608,971
役員退職慰労引当金	138,012	119,931
退職給付に係る負債	1,072,556	1,078,706
繰延税金負債	23,795	26,413
資産除去債務	684,584	683,972
その他	485,194	453,331
固定負債合計	4,771,286	4,671,326
負債合計	12,470,438	11,665,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,986,400	2,986,400
資本剰余金	4,569,597	4,569,597
利益剰余金	21,313,148	20,929,713
自己株式	110,018	184,190
株主資本合計	28,759,127	28,301,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,832	191,036
退職給付に係る調整累計額	10,795	9,809
その他の包括利益累計額合計	209,628	200,845
新株予約権	101,874	99,316
純資産合計	29,070,630	28,601,682
負債純資産合計	41,541,068	40,267,021

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	13,169,213	12,992,796
売上原価	6,838,503	6,727,173
売上総利益	6,330,709	6,265,623
販売費及び一般管理費	5,590,802	5,520,662
営業利益	739,907	744,961
営業外収益		
受取利息	15,906	19,600
受取配当金	1,290	1,218
投資有価証券売却益	-	23,452
その他	12,838	11,156
営業外収益合計	30,036	55,427
営業外費用		
支払利息	11,690	9,340
その他	3,431	4,632
営業外費用合計	15,122	13,973
経常利益	754,821	786,414
特別利益		
新株予約権戻入益	451	2,558
特別利益合計	451	2,558
特別損失		
固定資産除却損	31,512	1,414
店舗閉鎖損失	13,770	6,200
減損損失	1,748	4,461
特別損失合計	47,031	12,076
税金等調整前四半期純利益	708,241	776,895
法人税、住民税及び事業税	96,210	110,365
法人税等調整額	158,997	166,253
法人税等合計	255,208	276,619
四半期純利益	453,033	500,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	453,033	500,276

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	453,033	500,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,047	7,796
退職給付に係る調整額	556	986
その他の包括利益合計	2,604	8,782
四半期包括利益	455,637	491,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,637	491,493
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	233,536千円	210,276千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	795,348	27.00	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	883,711	30.00	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。

(1 株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	15円38銭	16円99銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	453,033	500,276
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	453,033	500,276
普通株式の期中平均株式数(株)	29,457,317	29,447,457
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったもの の概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

株式会社三香堂の株式取得

当社は、2019年3月19日開催の取締役会において、有限会社三香堂の株式を取得して子会社化することを決議しました。なお、有限会社三香堂は2019年6月30日までに株式会社に組織変更しております。また、2019年7月1日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社三香堂

事業の内容 帆布製バッグ・小物の企画・製造・販売

企業結合を行なった主な理由

商品の相互補完、共同での商品開発、株式会社三香堂の出店強化等による両社の事業拡大のため

企業結合日 2019年7月1日

企業結合の法的形式 現金を対価とする株式取得

結合後企業の名称 名称の変更はありません。

取得した議決権比率 100%

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	113,520千円
取得原価		113,520千円

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

株式会社サックスパー ホールディングス
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 若尾 慎一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川又 恭子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サックスパーホールディングスの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サックスパーホールディングス及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。